

518i 524td
528e
535i M535i



© BMW AG, Munich/West Germany
Not to be reproduced wholly or in part
without written permission of BMW AG, Munich
511050170 · 1/85 VM
Printed in West Germany 1985

ニューBMW518i、524td、528e、535i、M535i: いま、BMWは最高レベルの自動車工学テクノロジーを結集し、新たな道を切り拓きます。

これからの社会は自動車に対し、革新的な設計コンセプトとテクノロジーを要求します。これは、超高級車についても例外ではありません。言うまでもなく、私たちBMWも、超高級車こそ時代が求める経済性と効率の厳しい基準を満たすべきだ、と考えています。BMWが未来的な要求水準をクリアするために、まったく新しいコンセプトに基づいて設計生産されているという事実。これが、BMWが他車と明確な一線を画している最大の理由だと言えるでしょう。

BMWは見せかけだけの装備を施すというような安易な道は決して選びません。真に知的な機能、そして理にかなったエンジン設計などを開発することで、より卓越した車を世に送り出そうとしているのです。すべてのBMW車は、その背後に永い自動車づくりの歴史と、世界最先端のテクノロジーを有しています。そして、いま、BMWの英知と情熱を結集し、ニューBMW5シリーズが誕生しました。

ニューBMW5シリーズ: 超高級中型車が、これほど個人的で革新的なテクノロジーを提供したことがあったでしょうか。

卓越したテクノロジーを有し、同クラスの代表的存在となり、しかも未来までも予感させる車。そのような条件を満たす車が姿を現そうとしています。つまり、ニューBMW5シリーズの誕生です。この車は、真に個性的なモータリストの要求を、極めて高レベルで満たすことができます。多様な車種ラインアップ、そして、それぞれが明確な個性を誇るエンジン・テクノロジー。また、その傑出した自動車工学テクノロジーは、他の超高級車のすべてを凌駕しようとしています。

ニューBMW5シリーズは、未来のモータリング環境が要求する高度な基準を、クリアするだけの資質を身に付けています。ニューBMW518i、528e、535i。そして、ターボ・ディーゼル・エンジンを搭載したニューBMW524tdおよび、スポーツバージョンのM535i。これらすべてに共通するのは、際立った個性と、まさに革新のテクノロジーに他なりません。

ニューBMW5シリーズ: 革新的な車は、モータリストにステアリングを握る新たな喜びをもたらします。

極めて広範囲な自動車工学テクノロジーを研究開発することで、BMWは独自の卓越性と個性を失うことなく、厳しい社会的要求を完璧に満たす車を誕生させました。その事実、ニューBMW5シリーズの驚くべきテクノロジー、洗練の名にふさわしい設計コンセプトとスタイリングを見れば、すぐに理解していただけるに違いありません。特にそのスタイリングは、従来のコンセプトを完全

に超越したと言えるでしょう。時代の進歩とともに、車にも新たな基準が適用され、それにつれてモータリストの期待も大きくなっています。このような環境に対応するため、BMWが大きな自信とともに送り出した車、それがニューBMW5シリーズです。いま、BMWのエリートと言うべき超高級中型車は、世界の頂点を手にしました。

ニューBMW5シリーズ: 頂点のパフォーマンス、卓越のテクノロジー、新時代にふさわしい知的シンボルです。

車の真価は、投資する額によって決められるわけではありません。それは、車の内含する卓越性によって決められるべきです。傑出したテクノロジーを誇る車が、ありきたりの車よりも高価なのは当然です。確かな見識をお持ちのモータリストならば、ありふれた車に妥協されることはないでしょう。

先進的な超高級車の分野において、常にリーダー的な立場にあるBMWは、「トップクラスの車は単なる名声や通常の品質を超え、より高次元のものを提供しなければならない」と主張し続けてきました。その最良の答えが、ニューBMW5シリーズです。まさに革新と呼ぶにふさわしいBMWの自動車工学テクノロジーは、現在はもちろん、遙か未来さえも視野におさめています。

(本カタログ中の写真および記載には、一部オプションも含まれます。また使用の写真には、細部で日本仕様車と異なるものもあります。)





ニューBMW5シリーズ: その存在だけで、明確なクラスを 形成する、素晴らしく個性的な車。

他メーカーの車種系列は、通常、テクノロジー・レベルの違いによって、いくつかに分類されます。しかし、ニューBMW5シリーズは、それ自体で確固たるひとつのクラスを示しています。そして、ニューBMW5シリーズは卓越性をベースにした多彩なバージョンにより、モータリストの方のそれぞれの要求を満たします。

ニューBMW535i:
トップクラスのスポーティ車の代名詞です。

ニューBMW535iの誕生は、まったく新しい次元の卓越性を世界に示しました。この車が提供した広範な最高レベルのテクノロジーおよび機能は、これまでの同クラスの車では実現不可能なものです。

ニューBMW535iは、最高のパフォーマンスと滑らかな走りを実現するのに必要な条件を、あらゆる面で満たしています。そして、BMWならではの控え目で気品あるスタイリングが、その傑出した性能をいっそう際立たせています。

ニューBMW528e:
革新的スピリットが、来たるべき新時代を予言します。

ニューBMW5シリーズがもっている先進性は、この車によっても大きな話題を提供しました。時代のニーズを先取りして開発されたニューBMW528eのエンジンは、洗練された走行性能を少しも犠牲にすることなく、新レベルでの効率を実現しています。

出力不足によって能動的安全性が損われたり、優れた走行性能が失われたりする不安は、この車には一切存在しません。いま、BMWは群を抜く効率を持つガソリン・エンジンを導入し、トップクラスのモータリング体験を提示します。

ニューBMW524td:
より速く、よりダイナミックで、より洗練された車。

いま、BMWの名にふさわしいディーゼル・エンジンが初めて誕生しました。従来のディーゼル・エンジンは確かに経済性に優れていたものの、走行時の能動的安全性の欠如が問題にされていました。

つまり、ディーゼル・エンジンの燃費の良さや耐久性は実証されていたのですが、走りが滑らかでなく、ダイナミズムも感じないというのが定評になっていたのです。それゆえ、過去においてディーゼルのブームは存在したこともありませんでした。しかし、ニューBMW524tdの登場により、新たなディーゼル時代の幕が開けられたのです。

ニューBMW518i:
超高級中型車における、出発点。ニューBMW5シリーズの卓越性は、この車の品質からも顕著です。

洗練されたモータリングと安全性、そして中型クラスの超高級車におけるリムジンの快適さを、一定の予算内で選択したいとお考えの方に最もふさわしい車。それが、ニューBMW518iです。この車は極めて魅力的な価格で、最高のテクノロジーを誇るニューBMW5シリーズのコックピットへ、あなたをご案内します。

この車の真価を示すひとつの例が、電子制御燃料噴射システムです。これは省エネルギーという課題に大きく貢献するとともに、モータリング性能を群を抜いて向上させました。



BMWに少しでも似た走りを体験するには、BMWのステアリングを握る以外にない、という言葉が再び証明。この車に妥協は存在しません。

ニューBMW M535iは素晴らしくユニークな車です。BMWのエンジニアたちは、彼らが持っている資産を十分に生かし、この車を作り上げました。その資産とは、BMWオーナーの方々の存在に他なりません。メーカーとオーナーの方が一体となって初めて、車は真の卓越性を与えられるのです。スポーティな車が卓越性を持つには、ステアリングを握られる方の資質が必要だといっても過言ではないでしょう。

ニューBMW M535i: 比類なきスポーツ性能だけで、この車を語り尽すことはできません。未来志向のクオリティとスポーツ性能の結合にこそ、真の卓越性が存在します。

私たちがニューBMW5シリーズにM535iという最高速車を加えたのは、単にイメージを高めるためではありません。ニューBMW M535iは確かに最高速度230km/h(推定)を誇るハイパフォーマンス・モデルです。しかし、その性能とスポーツ性だけがすべてではないのです。

ニューBMW M535iが提供するの、確かな見識をお持ちのモータリストがBMWに期待される、極めて高レベルの品質なのです。それには、3.5ℓ直列6気筒パワーユニットから生まれる素晴らしいパフォーマンス、低回転域での強力なトルク、ターボ・エンジンにも似た滑らかな走り、最高のラグジュアリー性などが含まれます。ニューBMW M535iの卓越性は、他のスポーツ・サルーンと出力データを照合されるだけでお分かりいただけるでしょう。5400rpmで185ps、そして使用頻度の高い4000rpmで29.5kg-mもの強烈なトルクを発生。わずかにこれだけのデータからも、BMWならではの傑出した力がうかがえます。

他のすべてを凌ぐ、BMWの自動車工学テクノロジー。まさに洗練されたスポーティ・モータリングの誕生です。

直列6気筒パワーユニットを搭載したスポーティカーの分野において、ニューBMW M535iは極めて明確な性能と価値を示し、シンボリック的存在になっています。また、ニューBMW M535iがスタイリングに関しても、先進のコンセプトを採用しているという事実も忘れることはできません。実際の走行において、その性能をあますことなく発揮するためにもたらされた、理想的な空力スタイリング。そこには、BMW独自の画期的なコンセプトが結晶しています。ニューBMW M535iは優雅で機能的なスタイリングを有し、見識あるモータリストに、まさに最高の卓越性を提示します。

写真はM535i





知的エンジニアリングは、未来の 大いなる成功への指標です。

BMWの先進的エンジニアリングは、遙か未来を先取りした車を生み出しています。ニューBMW 5シリーズは、数多くの知的テクノロジーを駆使し、自動車エンジニアリングの未来に強烈なインパクトを与えたと言ってもいいでしょう。このことは、特にエンジンとサスペンションについて当てはまります。確かにBMW車は高性能車の世界的シンボルです。しかし、BMW車は最高速度だけに視点を置いて設計されたわけではありません。それは、むしろ使用頻度の高いエンジン回転数およびスピードにおいて、最も良く性能を発揮するように設計された車なのです。BMWは、使用頻度の高いその範囲で、モータリストから精神的かつ肉体的な緊張をできるだけ取り除くことが重要であると考えています。

これが実現すればモータリストがくつろいで運転を楽しむことができ、交通の流れも円滑になります。モータリストはもちろん、まわりの人々にとっても素晴らしい意義のあることです。ニューBMW 5シリーズの、このようなモータリングにおける優秀性は、モータリストが交通ルールを守って安全運転されるのを、更に助長してくれます。ですからニューBMW 5シリーズのステアリングを握るモータリストは、その時々状況において、より敏速に、より的確に反応することができるのです。

ニューBMW 5シリーズは、省エネルギーのために経済性を追求することが、必ずしも安全性、快適さ、レスポンスなどの低下を招くものではないことを見事に証明しました。BMWの知的テクノロジーは、これらの一見矛盾するような課題を同時に解決したのです。

ニューBMW 5シリーズは、スポーティで快適なサルーンのメリットと、極めて高水準の経済性を結び付けています。ニューBMW 518iからニューBMW M535iまでのすべての車に、電子制御燃料噴射システム(L-ジェトロニック)を採用。このシステムは、車の性能向上と、燃費の向上に大きく貢献しています。高性能と経済性の両立という点に関し、電子制御燃料噴射は従来のシステムを完全に凌いでいます。ガソリンと空気の理想的な混合気を生み出し、寒冷時でも優れたエンジン始動特性を実現。また、アイドリング時や高速走行など、キャブレター方式では燃費の悪化が避けられない場合でも、エレクトロニクスが噴射する燃料の量を正確に制御し、抜群の効果をもたらします。

ニューBMW 528e、535i、そしてM535iのパワーユニットは、極めて精巧で機能的なDME/デジタル・モーター・エレクトロニクスによって制御されます。DMEはクリーンな排気と低燃費を実現しつつ、アクセル操作によるエンジン・レスポンスを高め、低回転域での滑らかな走りをもたらしました。また、始動時に最適な点火時期と噴射時期を決定することで、アイドリング中の素晴らしくスムーズな回転も実現しました。これは特に、オートマ

チック・トランスミッション車でエアコンを動作する場合などに効果を発揮します。そして、DMEはメカニカルな作動部品を使用していないため、磨耗の可能性がまったく存在しません。DMEは、わずらわしいメンテナンスを完全に不要としました。そのコントロール・プログラムは絶対的な安定度を誇ります。

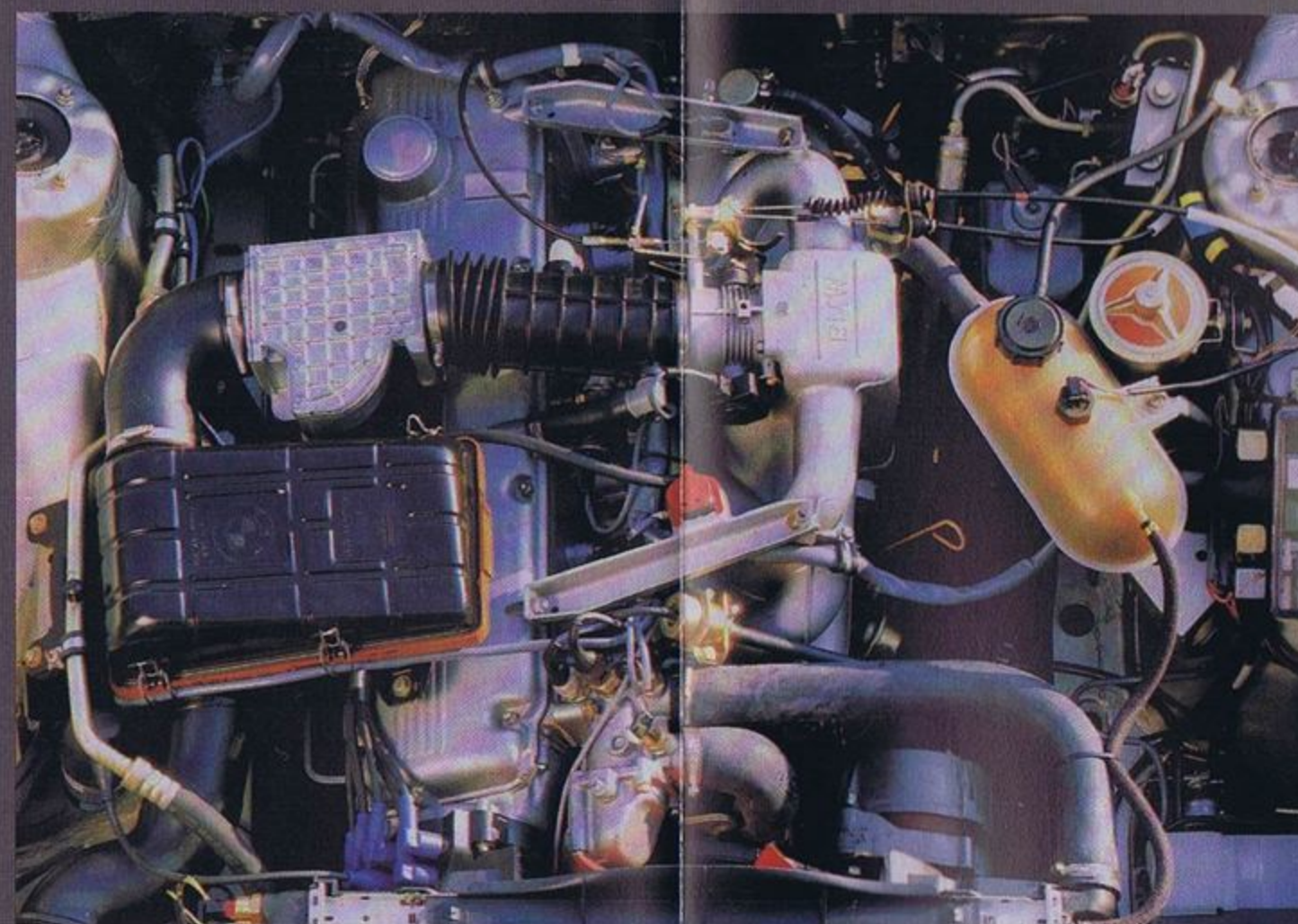
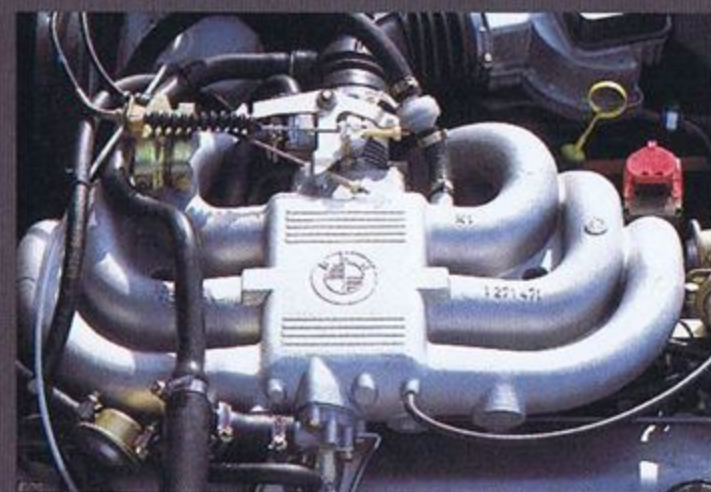
ニューBMW 5シリーズのサスペンション:

世界のトップクラス車の中にも、これほど優れたサスペンションを発見することはできません。ただひとつの例外は、BMW最高車種の存在です。

フロントにスプリングストラット、リヤにセミトレーリング・アームを採用しているBMWのサスペンションは、世界で最も効率的で安全なシステムだと言えるでしょう。この理想的な組み合わせは、莫大な投資による永年の研究と、広範囲にわたって集められたレーシング・データの結晶に他なりません。

ニューBMW 5シリーズは、このような基本システムをさらに改良し、まったく新しいモータリング特性が与えられました。それは、サスペンション・レスポンスが高まったことによる緊急時の能動的安全性の向上、さらに正確になったステアリング特性、コーナーでの揺ぎない安定性、並み外れた直線走行性などによって示されます。これらは、ひとつの事実を語っています。それは、ニューBMW 5シリーズのサスペンションは、いまや、BMW最高車種である6シリーズおよび7シリーズの域に達しているという事実です。





ABS/アンチロック・ブレーキング・システム:
世界のトップレベルをいく、最も効果的な制御方式。

BMWは西ドイツのボッシュ社と協力し、極限状態でもか
つてない安全性を提供できる、まったく新しいブレーキ
ング・システムを開発しました。それがABS/アンチロック・
ブレーキング・システムです。(ニューBMW535i、M535iに
標準装備)

ABSの最も注目すべき点は、左右のタイヤが異なった状
態の路面を走っている時に、ブレーキ・ペダルをいっば
いに踏み込んでも、それぞれのタイヤを制御することで
横すべりを防ぐことにあります。また、カーブの多い道路

でもフル・ブレーキングが可能です。
ABSは力いっぱいブレーキを踏んだ時でも、車の操作性
が失われません。つまり、緊急時でも障害物を避け、事故
を回避することができるわけです。それぞれのタイヤの摩
擦係数を最大限に高め、停止距離を最短に抑えるのも、
ABSのメリットのひとつです。

世界で最も効率がよく、安全性にも優れていると認めら
れた、BMWシャシー設計。それは、フロントにスプリングス
トラット、リアにセミトレーリング・アームを配しています。そ
して今、ニューBMW5シリーズのシャシー・コンセプトはさ
らに高められました。BMW特許のダブルジョイント・スプ
リングストラット・フロントアクセルと、スイープバック角13度
の新開発セミトレーリング・アーム・リヤアクスルの採用で
す。これにより、加速時のダイブが大幅に減少しました。



BC
R
L



CRUISE CONTROL



ニューBMW5シリーズの cockpit: 単なるインテリアではなく、あらゆる要求を満たす最高のモーターリング環境を創造。

BMWのcockpitは、常に人間とマシンの完璧な調和をめざして設計されています。あなたがニューBMW5シリーズのステアリングを握られたならば、この車のインストルメント・パネルが他のラグジュアリー・セダンとほとんど類似点を持っていないことに、すぐに気づかれるに違いありません。BMWのcockpitは、あらゆる状況下における、人間の行動および心理を徹底的に分析研究して生まれたものです。それは、どのような状態にあっても車を完全にコントロールできるよう、細心の配慮をもって設計されています。また、すべてのコントロール装置は容易に操作できるよう、航空機のcockpitに似たレイアウトになっています。夜間には、防眩効果のあるオレンジ色の照明が点灯します。

先進のエレクトロニクス・システム:

有益な情報を確保することが、よりよい運転をすることに繋がります。

ニューBMW5シリーズは、車の内部に収められた先進のエレクトロニクス・システムから情報を得ながら、走行するように設計されています。BMWのエンジニアは、車はもちろん、モータリストにも走行時の多くの情報が必要だということを知り抜いています。このようなコンセプトに基づき、ニューBMW5シリーズには、オンボード・コンピュータ、SI/サービス・インターバル・インジケータ、アクティブ・チェック・コントロール、EC/エネルギー・コントロールなどの革新的テクノロジーが導入されています。

BMWオンボード・コンピュータII:

運転に対するモータリストの集中力を高める、画期的なサポート・システム。

BMWはオンボード・コンピュータIIによって、エレクトロニクスが省エネルギー運転に対していかに大きな貢献するのかを、極めて明確に示しました。モータリストが効率的な運転方法を知るには、まず、自らの走行パターンがどのように燃費に影響するのかを理解しなければなりません。その意味からも、このシステムの存在価値は高いと言えるでしょう。

BMWオンボード・コンピュータIIは、効率的で安全な運転のために、数多くの情報を提供します。まず、タンク内の燃料の残りから、走行可能距離を表示。そして、最高速度をプログラムすることも可能。この設定速度を超えると、信号音を発し、発光ダイオードが点滅してモータリストに知らせます。

BMWオンボード・コンピュータIIは、さらに多彩な機能を誇ります。デジタル・クロックを内蔵。外気温が凍結点に近づくと警告音を発信。また、盗難防止装置としての機能も有しています。

BMWオンボード・コンピュータIIは、人とマシンの相互関係を、これまで以上に深めました。これこそ、BMWが数十年にわたってめざしてきた目標だと言ってもいいでしょう。

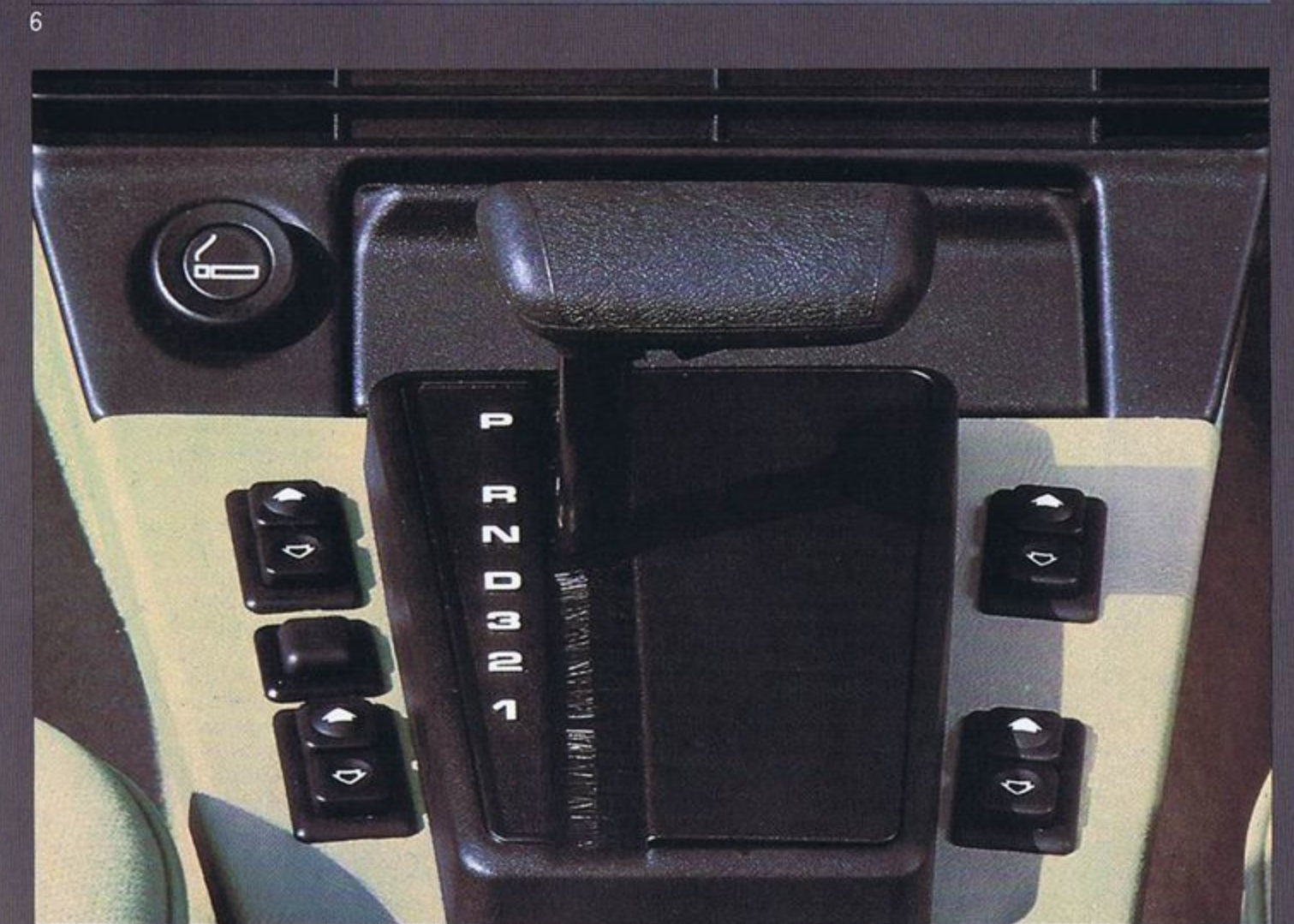
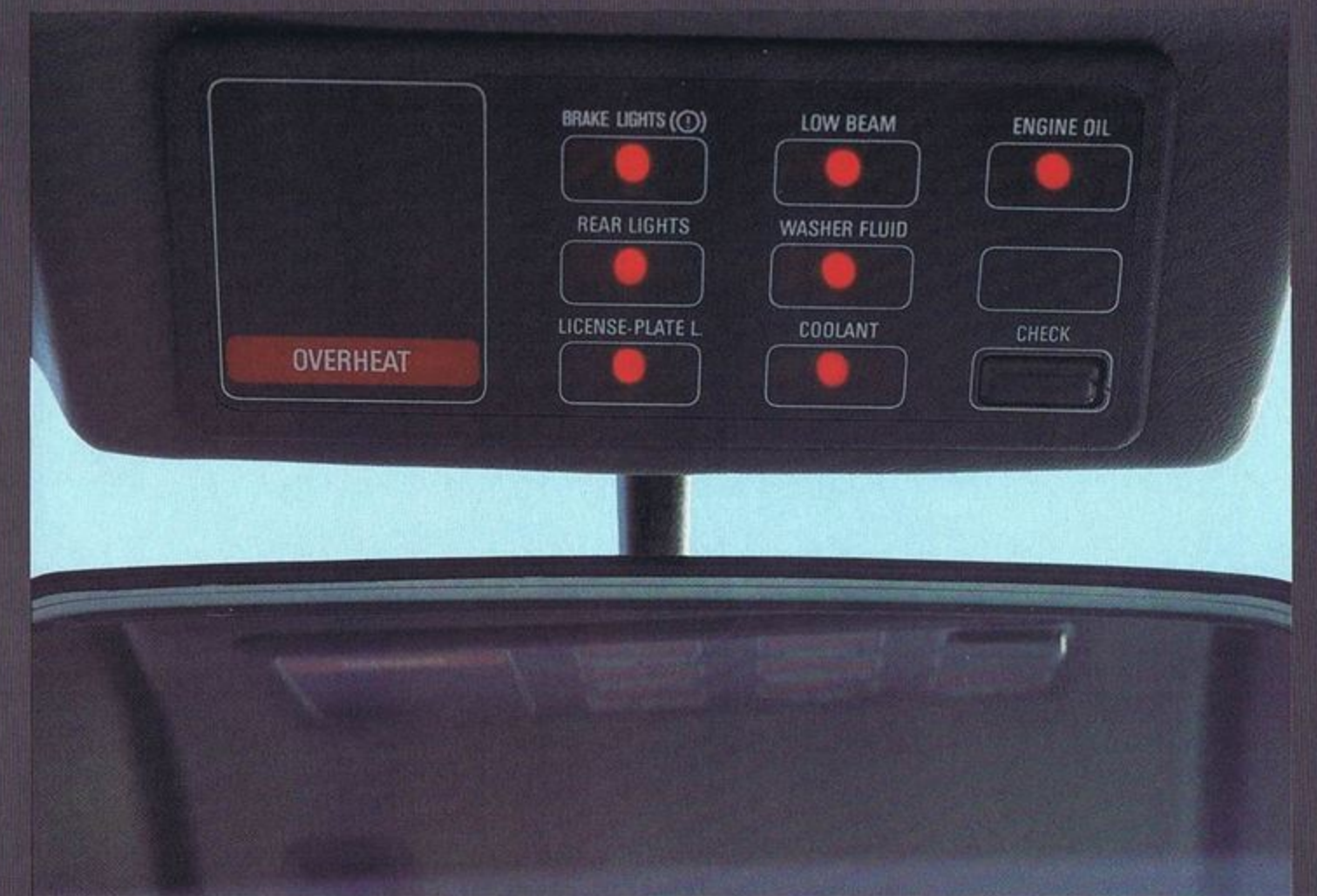
BMWのヒーター/ベンチレーション・システム:

BMWが提示する快適性は、ありきたりの心地良さを超越しています。

現代を積極的に生き、豊かな想像力を身につけた方々のために、BMW車が設計生産されているという事実。その好例として、ニューBMW5シリーズのヒーターとベンチレーション・システムをあげることができます。車内の空気の流れを徹底的に研究し、ニューBMW5シリーズのヒーター/ベンチレーション・システムは高度に洗練され、世界中の要求水準の高いモータリストさえも完全に満足させ得ることができます。フロントとリヤで個別に調節できるのも、メリットのひとつです。また、最高の使いやすさと機能を目的として、BMWが開発したオートマチックのエアコン・システムは、暖房、冷房、通気の機能が一体となっています。このエアコンは外気温に関係なく、セットされた室温と空気の流れを自動的に維持します。ニューBMW5シリーズに与えられたラグジュアリー性は、まさに完璧な水準にまで高められました。

写真(は535)





2
アクティブ・チェック・コントロール:
安全性を自動的かつ効果的に高めます。

アクティブ・チェック・コントロールはまさに先進の名にふさわしいエレクトロニクス・システムだと言えるでしょう。アクティブ・チェック・コントロールはエンジンが始動した瞬間から、車に必要な数多くの機能を自動的に管理します。

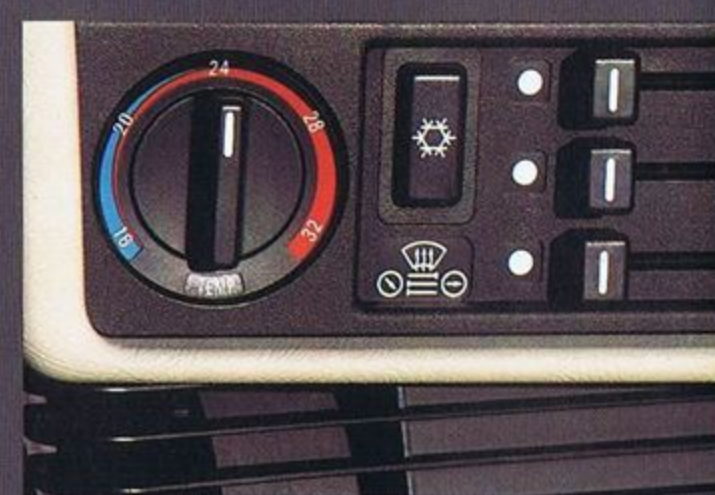
走行中に何か不都合が起った場合には、計器盤の中央にあるランプが点滅し、瞬時にチェックの必要性を示します。それと同時に表示用発光ダイオードが点灯し、チェックすべき箇所を知らせます。警告ランプが点滅したら、



3
テストボタンを押してください。そうすれば警告ランプは消えますが、チェック箇所を知らせる発光ダイオードはなお点灯したままになります。(6)

SI/サービス・インターバル・インジケータ:
エレクトロニクスが、点検・整備スケジュールを管理します。

ニューBMW5シリーズのもうひとつの注目すべきシステムは、SI/サービス・インターバル・インジケータです。ドライバーが異なれば、運転スタイルも違ってくるのは当然のことです。つまり、点検、整備の時期は、運転状況によって変



4
わってくるわけです。

SI/サービス・インターバル・インジケータは、エンジンの回転速度、冷却水温度、前回の整備からの経過日数、走行距離などから、センサーでデータを集め、点検整備時期を的確に知らせます。日本では法令に定められた点検時期に従う必要がありますが、この装置はドライバーの走行パターンを確認する目安となり、一層の安全性に貢献するシステムです。(5)

ステアリング位置は、きわめて柔軟に調節することができます。(2)

ニューBMW5シリーズは4速オートマチック・トランスミッション仕様車です。これには、オーバードライブの4速があり、



5

オートマチックのメリットを得た代わりに、性能面での妥協を強られることはありません。クルーズ・コントロールはオプション。長距離走行におけるドライバーの疲労を軽減させるシステムです。(10)



8



10



9

ニューBMW5シリーズのインテリア: 単に座るためではなく、モータリングを至上の目的とした設計コンセプト。

車の開発に携わる人々の間には、まったく異なる2つの考えが存在します。そのひとつは、車の機能を不必要にまで高め、人をマシンから完全に隔離してしまうとするものです。つまり、モータリングに関する役割のほとんどを、車にまかせてしまおうという考えです。

しかし、BMWは、このように受動的なアプローチは愚かしいものだと考えます。私たちBMWはこのような考え方とはまったく正反対の、もうひとつのアプローチを採用しています。それは、人と車はどちらも欠かせない存在であり、一体となって素晴らしいモータリングを生み出すべきだという考えです。つまり、マシンの性能をさらに高め、文字通り完成させるのは人間の力に他ならないと、BMWは主張します。これは、私たちが長い間、人とマシンが一体となって挑戦するモータースポーツに関わってきたからかもしれません。

BMWのエンジニアたちは、人とマシンの最高の関係を見つけ出すために、まず広範な生理学的研究に取り組みました。長時間の高速運転が人間に及ぼすストレス、混雑した市街地走行によって生じる肉体的影響など、あらゆる状況が研究されたのです。このようにして完成された人とマシンの一体化は、素晴らしい成果をもたらしました。あなたがニューBMW5シリーズを運転されれば、完璧な車との一体感を体験されるに違いありません。もし、あなたが従来のラグジュアリー・セダンを熟知しておられたとしても、ニューBMW5シリーズのモータリング体験は、まったく新しい喜びをもたらすことをお約束します。

ニューBMW5シリーズのセーフティ・コンセプト:
BMWは車の設計にあたり、モータリストを車より優先して考えます。

全く同じサイズの体を持った人間は存在しない。この医学的事実を十分に考慮した上で、ニューBMW5シリーズはあらゆるドライバーに適應するように設計されています。これは矛盾ではなく、確かな事実なのです。

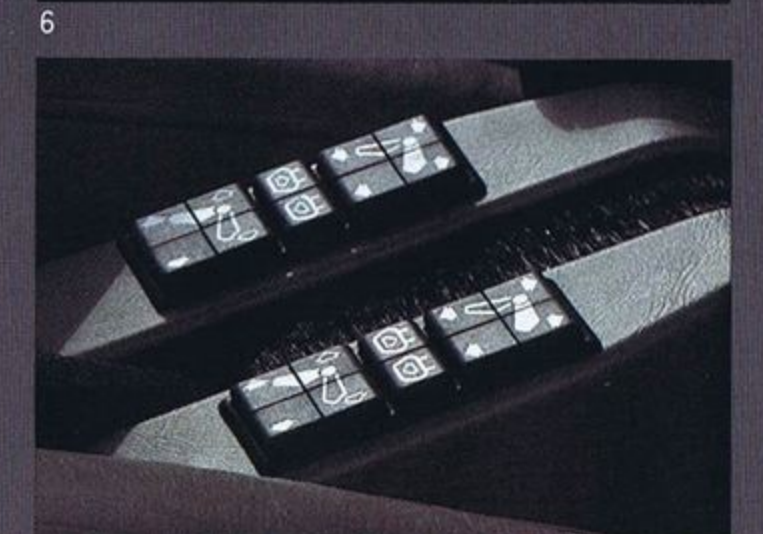
ニューBMW5シリーズにお乗りになれば、視界を防げるようなルーフ・ラインが何ひとつないことに驚かれるに違いありません。BMWのエンジニアたちは革新的なレーザービーム・テクノロジーを導入し、あらゆる範囲での視認性を飛躍的に高めたのです。

そして、室内のすべての突出部は、エネルギー吸収作用のあるフォームラバー・ライニングで、注意深くパディングされています。このパディングはインストルメント・パネルはもちろん、ドライバーの膝あたりにまで及んでいます。また、金属部分はエッジを内側に向けるなどの配慮をしました。

BMWのセーフティ・セル(居室)はドライバーを効果的に保護します。これは特別製のルーフ・ピラ

一、インストルメント・パネル部のサポート、後部座席のクロスストラット、剛性の高い縦のストラットなどで補強されており、シャシー全体を強化しています。ドライバーの頭部付近にも万全の注意が払われました。ルーフ部分は万一の転覆の場合でも、車全体の重量を支えることができるように設計されています。すべてのルーフ・ピラーと、特殊な形状を持つサポート材は総合的に設計し、厳格にチェックしたものだけを使用しています。





ニューBMW5シリーズのフロント・シートは、体にあわせて完璧に調節できます。パディングを施したステアリングも、最も操作しやすい位置に調節可能。電動サンルーフは2方向に開けることができ、最適なベンチレーションを実現します。ウインドーの開閉スイッチはセンター・コンソールに内蔵され、素晴らしく使いやすいものになっています。(4/5/8)

そして、電子チューナー式AM/FMステレオカセット・ラジオを搭載。4つの高性能スピーカーによるハイファイ・サウンドをお楽しみいただけます。(7)

ドアポケットも後から付加したものでなく、最初からドアパネルと一体となった構造になっています。(9)



2

3

4

ニューBMW5シリーズ： 外観にとらわれず、本物のプレステージを愛する方のための車。

経験豊かな人々は、自分自身の確固たる判断基準を持ち、あらゆる物事を決定していきます。この事実から考えても、車はそのオーナーの価値観を反映するのは当然だと言えるでしょう。ニューBMW5シリーズを愛されるオーナーの方は、車を自らの豊かさのシンボルとしてではなく、最高の運転の喜びを手に入れる手段として考えます。ニューBMW5シリーズに与えられた、群を抜くテクノロジーと傑出した卓越性。それは、オーナーの方が車の真の性能を熟知し、楽しめることによって、いっそう際立つのです。

BMWの企業スピリットは、創造性の尊重、能力主義、そして無類の向上心によって象徴されます。ダイナミックに行動し、集中し、絶えず未来を見つめる、革新的なスピリットが私たちのバックボーンです。このような企業姿勢があったからこそ、私たちは数々の成功を手に入れることができたと自負しています。

過去15年間にわたり、BMWは素晴らしい成功を収めた超高級車メーカーとして、確固たる地位を占めてきました。むろん、ただ単にファーストクラスの車を生産しただけでは、その地位を獲得することは不可能です。BMW車の卓越性を理解し、自分たちの高い要求水準にふさわしいと認めてくださった、数多くのモータリストの方々があって初めて、BMWの成功がもたらされたのです。つまり、BMWオーナーを抜きにして、BMWを語ることはできないと言えるでしょう。

BMWの車やモーターサイクルと同様に、BMWオーナーの方々もまた、明確な個性を發揮し、際立った存在になっています。彼らは有能かつ積極的であり、向上心に燃え、批判精神を有し、信念に基づいて行動します。言い換えるならば、個性的かつダイナミックな性格をそなえ、車そのものに自身の特徴を反映させたいと願う方々なのです。

すべての車は、その価値にふさわしい人々に選ばれる。この言葉は真実です。そして、ニューBMW5シリーズとオーナーの関係は、その最良の形だと言えるでしょう。

ニューBMW5シリーズの後部座席：

あらゆる面で本物の贅沢さを楽しむために、ゆとりあるスペースを創造。

ニューBMW5シリーズはステアリングを握る方の最高のモータリング体験と、後部座席でくつろがれる方のラグジュアリー性を、比類なきレベルで結晶させました。厳しい要求を満たす高度なコンセプト、そして他の追随を許さない圧倒的なモータリング性能。これこそが、ドライバーと後部座席の方に素晴らしいモータリングをもたらす最大の理由です。

後部座席の背もたれ部分を特別に設計し、膝回りのスペースを大幅に拡大。シートのベンチも

医学的および人間工学的研究に基づき、設計され、徹底的な改良が加えられました。これは、後部座席全体にわたって、スプリング効果と圧力分布を最適にするためです。なお、後部座席の安全ベルトは、使用しない時には邪魔にならないように格納することができます。

ニューBMW5シリーズのヒーター/ベンチレーション・システムは、後部座席の方にも快適さをもたらすように設計されています。

そして、洗練されたサスペンションの存在も忘れるわけにはいきません。群を抜くパフォーマンスと安全性を実現。また、フロント・シートおよび後部座席の方に、特に長距離走行において、素晴らしい快適さをお約束します。

この快適なモータリングは、ファイナル・ドライブ・マウントと、サスペンション・エレメントによって一段と高められています。





後部座席の背もたれ部を凹面にし、乗る方の膝付近にゆとりを創造。膝が前のシートにふれたり、横向きに座ったりする必要はありません。BMWはトランクの内部も見過しません。内部全体にライニングが施されているので、貴重品を汚したり傷つけたりすることがありません。また、トランクの内側には、大型のツール・キットが取り付けられています。





世界のトップクラス車オーナーは時代の要求を知っています。それは、エンブレムの名声はボンネットの中の革新性と優越性によって保証されなければならない、という要求です。

この条件をまさに満たす車、それがニューBMW5シリーズです。

現代において、真に傑出した車を選び出し、購入するには、決定のための明確な指針が必要とされます。指針、それは優れた物を見出す見識だと言ってもいいでしょう。十分な情報を得たモータリストと、未来志向の車の確かなクオリティがひとつに結ばれる時、人とマシンに最高の関係が生まれます。

これから車を購入される際には、単なる目新しさ、ありふれた快適さ、表面だけのプレステージなどを排し、先進の名にふさわしいテクノロジーと、変わることのない価値を要求してください。そして、あなた自身のライフスタイルに最もふさわしい車を選択するということもお忘れにならないでください。

ニューBMW5シリーズは、ドライバーに比類なき卓越性を提供します。ぜひ、BMW Japan Corp. 正規代理店で、その真価をお確かめください。この素晴らしい車以下の水準で、あなたが満足される必要はどこにもありません。

もし、あなたがステータスの本質が個性、知性、そして卓越性にあるとお考えならば、ニューBMW5シリーズこそあなたが選択すべき車です。



これほど細心の配慮と情熱を注がれた車ならば、メンテナンスも高度であるべきです。BMWは車作りに献身的であるのと同様に、卓越したサービス体制作りに努力しています。

BMW Japan Corp.および正規代理店は、一体となって充実したサービス体制を築き上げています。その原動力は、あらゆる場所でBMWオーナーの方に高度なサービスを提供し、満足をお約束したいという情熱に他なりません。

BMW Japan Corp.正規代理店のスタッフは、車に対するオーナーのニーズに、献身的なサービスで応えることを大きな誇りとしています。私たちは先進的な設備、熟練したエンジニア、そして豊富なパーツを擁し、BMWオーナーの方にふさわしいサービスをお約束します。

主要諸元

●車種記号	518i	524td	528e	535i	M535i
●寸法					
全長 mm	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620
全幅 mm	1,690	1,690	1,690	1,690	1,710
全高 mm	1,415	1,415	1,415	1,395	1,395
ホイールベース mm	2,625	2,625	2,625	2,625	2,625
トレッド(前) mm	1,430	1,430	1,430	1,430	1,430
トレッド(後) mm	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470
最低地上高 mm	145	145	145	145	145
室内寸法(長) mm	1,825	1,825	1,825	1,825	1,825
室内寸法(幅) mm	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375
室内寸法(高) mm	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170
●重量/定員					
車両重量 kg	1,250	1,410	1,300 (ABS付1,320)	1,410	1,410
定員 人	5	5	5	5	5
車両総重量 kg	1,525	1,685	1,575 (ABS付1,595)	1,685	1,685
●性能					
最小回転半径(車体m)	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9
●エンジン					
型式	1.18L J1	246T	2.27ME J1	3.34M J1	3.34M J1
総排気量 cc	1,766	2,443	2,693	3,430	3,430
圧縮比	9.0	22.1	9.0	8.0	8.0
最高出力 ps/rpm(DIN)	100/5,800	115/4,800	120/4,250	185/5,400	185/5,400
最大トルク kg·m/rpm(DIN)	14.2/4,500	21.4/2,400	23.4/3,250	29.5/4,000	29.5/4,000
燃料供給装置	レジェトロニック燃料噴射装置	分配型燃料噴射ポンプ	レジェトロニック電子燃料噴射装置+デジタル・モーター・エレクトロニクス(DME)		
燃料/タンク容量 ℓ	無鉛レギュラーガソリン/70	軽油/70	無鉛レギュラーガソリン/70	無鉛レギュラーガソリン/70	無鉛レギュラーガソリン/70
●駆動装置					
クラッチ	流体式トルクコンバーター(ロックアップクラッチ付)	流体式トルクコンバーター	流体式トルクコンバーター(ロックアップクラッチ付)	流体式トルクコンバーター(ロックアップクラッチ付)	流体式トルクコンバーター(ロックアップクラッチ付)
トランスミッション	前進4段 後退1段 フルオートマチック	前進4段 後退1段 フルオートマチック	前進4段 後退1段 フルオートマチック	前進4段 後退1段 フルオートマチック	前進4段 後退1段 フルオートマチック
操作方法	フロアシフト	フロアシフト	フロアシフト	フロアシフト	フロアシフト
変速比(1速)	2.730	2.730	2.478	2.478	2.478
変速比(2速)	1.560	1.560	1.478	1.478	1.478
変速比(3速)	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
変速比(4速)	0.728	0.720	0.728	0.728	0.728
変速比(後退)	2.090	2.090	2.090	2.090	2.090
最終減速比	4.100	3.150	2.930	3.250	3.250
●操向装置					
ステアリング形式	ボールナット式/パワーステアリング	ボールナット式/パワーステアリング	ボールナット式/パワーステアリング	ボールナット式/パワーステアリング	ボールナット式/パワーステアリング
●懸架装置					
前輪	ダブルジョイント・マクファーソンストラット	ダブルジョイント・マクファーソンストラット	ダブルジョイント・マクファーソンストラット	ダブルジョイント・マクファーソンストラット	ダブルジョイント・マクファーソンストラット
後輪	セミトレーリング・アーム	セミトレーリング・アーム	セミトレーリング・アーム	セミトレーリング・アーム	セミトレーリング・アーム
●制動装置					
主ブレーキ形式(前)	ソリッド・ディスク	ソリッド・ディスク	ベンチレーテッド・ディスク	ベンチレーテッド・ディスク	ベンチレーテッド・ディスク
主ブレーキ形式(後)	リーディングトレーリング式(自動調整式)	リーディングトレーリング式(自動調整式)	ソリッド・ディスク	ソリッドディスク	ソリッド・ディスク
ブレーキ倍力装置	真空式	真空式	真空式	油圧式	油圧式
駐車ブレーキ形式	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)	機械式(内部拡張式)
●タイヤ/ホイール					
タイヤ(前・後とも)	175R14 88T	200/60HR390	200/60HR390 TRX	220/55VR390TRX	220/55VR390TRX
ホイールリム	5½J×14スチール	165TR390アロイ	165TR390アロイ	165TR390アロイ	165TR390アロイ

- 本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本カタログ中の写真には、日本仕様と異なるものもあります。また一部オプションも含まれます。

BMW Japan Corp.

西独BMW全額出資の日本法人
 本社/〒106 東京都港区西麻布4-12-24
 TEL.03(499)6811<大代表>



BMW 究極の車